

「平成 27 年度東京都予算等に対する要望」について東京都議会自由民主党と会合

日時：平成 26 年 9 月 8 日(金) 15:40～16:00

場所：都議会議事堂 5 階「自民党総会室」

平成 27 年度東京都予算等の要望に関して、東京都議会自由民主党と定例のヒアリングを行い、提出した下記政策要望を基に意見交換した。

出席者：[東政連] 森永伸博会長、
野上光之・永井徹両副会長、
木村篤義幹事長、松村寿夫・
森田茂両副幹事長、小川雅資
常任幹事
[自由民主党] 村上英子、
高木けい、林田武党三役ほか
都議約 20 名



要望事項：①印刷・同関連産業の振興

に対する支援について

②教育現場における紙媒体の活用推進について

③雇用対策に対する支援について

④東京都発注印刷物の入札方法の改善について

⑤2020 オリンピック・パラリンピック関連の印刷物発注要件について

要望事項に係る東京都議会自由民主党からの質問に対し、以下のとおり東政連としての取り組み、対応を示した。

②教育現場における紙媒体の有効性について、電子化という時代の流れの中でどういう価値をどういう形で伝えていくのか・・・

子供達に紙や印刷の文化を伝えたり、絵本を読ませるなどの地域活動を一部で行っているが、そういう側面をさらに推し進めることにより、紙媒体の良さを理解してもらえればと考えている。情報産業の一翼を担う印刷業界としては、社会的なデジタル化偏重の流れについて、まずは次世代の育成面から教育現場に対し慎重な対応を求めると共に紙媒体の優位性を認識してもらうことで、社会一般に対しても影響力のある教育現場から紙・電子媒体の共存の意義を発信してもらい、健全で利便性ある社会形成に繋がりたいと考えている。

⑤2020 オリンピック・パラリンピック関連の印刷物発注について、要件に挙げているメディア・ユニバーサルデザイン(MUD)は必要な事項であるが、浸透度合とオリンピック・パラリンピックに組込ませる具体的な対応は・・・

MUD の具体例として地下鉄の路線図などに使われ、徐々に浸透してきている。こうした好例があるので、メディアの大きな位置を占める印刷物の要件に MUD を入れることで、その有用性が社会に反映される。